

施工主様 施工技術者様へ 下記施工要領を御確認の上、施工お願い致します。

重要	開封放置禁止	ジョイント施工	① 必ず巾おとしする
	※商品確認等で、開封したときは広げたまま放置しないで必ず包装して下さい。(ウールが生きている為、色差が発生します。)		② ホツレ止めをする



<写真1>

推奨施工方法 フェルトグリッパー工法

織物カーペットの基本的なジョイント方法
(シーミングテープジョイント前処理)

(A) 巾継ぎジョイント



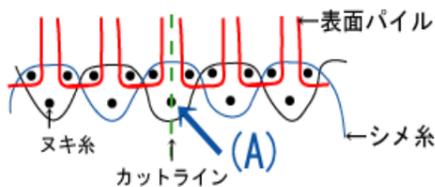
<写真2>

(B) 胴継ぎジョイント



<写真3>

(3越カット断面図)



<図1>

※ 重要項目なので必読の方、よろしくお願い致します

- | | |
|----------------|--|
| 巾おとしする | ① デザインやテクスチャーをよく理解した後、ジョイント箇所の耳部分より5cm以上のカーペットの巾をカットする。(商品の安定部分を使用する為) |
| 裏からカッターナイフを入れる | ② シメ糸(白い糸)を残すように、カーペットの裏面からカッターナイフでカットして下さい。<写真2参照> |
| シメ糸を残す | ③ ハサミでのカットも可能ですがパイルをカットしないように注意して下さい。<必ずシメ糸(白い糸)を残す事><写真2参照> |
| ホツレ止めをする | ④ ジョイントするカーペットの耳の基布部分にラテックスの原液をパイル面にはみ出さないように気をつけて塗布する。 |
| 問題なければジョイント作業 | ⑤ 半乾き状態でシーミングテープ等を使用しジョイント作業をする。 |

- ① デザインやテクスチャーをよく理解した後ジョイントライン(カットライン)を決める。
 - ② カット部分のセンターをカット(裏面よりカットパイルのつながりを切らないようにヌキ糸と図1Aの真上をカッターナイフでカットして下さい)<写真3参照>
 - ③ ジョイントするカーペットの端の基布部分にラテックスの原液をパイル面にはみ出さないように気をつけて塗布する。
 - ④ 半乾き状態でシーミングテープ等を使用しジョイント作業をする。
- ※ ジョイント完了後にはスリットしたカーペットの耳どうしがラテックスで接着されて強力なジョイントに仕上がります。

※ ジョイント完了後にはスリットしたカーペットの耳どうしがラテックスで接着されて強力なジョイントに仕上がります。